

第30回 学園祭

令和5年10月13日(金)

けんしん郡山文化センター大ホールにて3年ぶりのクラス発表会。一致団結!各クラスとも創意工夫のすばらしい発表を終える。



会報

あさかの



発行

郡山市あさかの
 学園大学学生会
 《発行責任者》
 学生会会長 佐藤 重章
 《編集責任者》
 会報編集委員長 仲野 寛
 《印刷》(株)土屋印刷所

応募23作品の中から

最優秀賞 藤田昌宏さん(1B)

優秀賞 佐浦 東さん(4B)
北 里子さん(研1)

の3名が表彰されました。
おめでとうございます。



ポスター コンクール



「大成功の学園祭」



学園祭 ステージ発表部長
 専門2年 郷土・生活
青沼 恵子

学園祭ステージ発表会は秋
 空晴天の10月13日開催されま
 した。

4年ぶりの事でしたが、
 経験者はほとんど居ない中、
 先生・スタッフの協力のお陰
 で大成功に終わる事が出来ま
 した。私は3回目の経験とい
 う事でステージ発表部長とい
 う大役を引き受けたものの、
 不安でいっぱいでした。ここ
 ろが、幕が上がるとどうでし
 ょう。思わず一緒に口ずさむ
 合唱・コーラス、心躍るダン
 スや踊り、工夫を凝らした演
 目で会場は大盛り上がりでし
 た。

「ふたたびの青春」そのまま、
 年を忘れ思いっきり楽しんで
 一日でした。

🌸 オープニングセレモニー 「青春ふたたび」斉唱 🌸



市長をはじめ
来賓者の方々、生徒の皆様と
久しぶりに校歌斉唱!

学園祭ポスター
受賞者
おめでとうございます



🎵 ファイナルセレモニー ビビットコーラス 🎵



ビビットコーラスによる素晴らしい合唱🎵

- 指揮：佐藤守廣先生
- ピアノ：川村彰子さん
- バイオリン：渡邊真浩さん



曲名「ねがい」「落葉松」「ふるさと」



🎵 ステージ発表 🎵

研1



365歩のマーチ・サザエさん・どうにもとまらない

研2



里の秋・ありがとうさようなら・あさかの学園大学の歌

4A



笑いヨガ・長生きサンバ

3A



ズンドコ節・あさかの学園応援団

4B



夢のフラフラサンバ

3B



長生きサンバ・寄ってらっしゃい飲んでらっしゃい

4C



4Cエクササイズ

3C



3Cジジ・ババ応援団

2A



河内おとこ節

1A



手のひらを太陽に・お祭りマンボ

2B



阿波踊り

1B



聞いて!ハンドベル演奏

2C



そんな時代もあったねと、いつか話せるきがるわ

1C



鉄腕アトム・恋するフォーチェンクッキー

現地学習

「初めての現地学習」

教養二年 芸術・文化 日下 登

初めての現地学習は、「奥の細道を訪ねて」でした。芭蕉が辿った境の明神、白河の関、乙字ヶ滝、可伸庵、十念寺を訪ねて、当時のことを想像することができました。バスの中では、小学校時代の遠足を思い出して、楽しいひと時を過ごすことができました。今回の現地学習で、あらためて「奥の細道」について学ぶことができました。

入学して六ヶ月が経ち、今後もクラスメンバーとのコミュニケーションを大切にしながら、これからの学園生活を謳歌したいと思えます。みなさん、今後の人生を楽しみましょう。



「曾良になりきって」

教養二年 芸術・文化 伊藤 正義

現地学習奥の細道を訪ねてⅡに、29名の仲間と松尾芭蕉と曾良になりきり、根本清夫先生の案内のもと現地学習をしました。

日和田町の安積山はほとんどの人が初めてのことで、現在はアサカノ沼は見えませんでした。次に二本松市黒塚へ、本当に鬼婆は居たんだらうかと？あの大きな石はどうして運んできたんだらうかと。歌舞伎の演目で有名な奥州安達原です。福島市の文知摺観音へ、残念ながらもみじの紅葉はちよっと早かったです。

美味しい弁当を食べ、医王寺へ。佐藤基治公・継信・忠信兄弟の菩提寺、本堂の天井絵にはみんなが見惚れていました。厚樫山の防塁跡を車内から見学しました。昔の人は本当に凄いなど。天気にも恵まれ、松尾芭蕉、曾良になりきった楽しい一日を過ごすことが出来ました。



「会津の仏教文化」

専門一年 健康・福祉 豆腐谷 栄二

訪れたのは勝常寺（八〇七年・徳一大師により開基）、長床で有名な新宮熊野神社（二〇八五年・源義家により勧請）。道の駅「喜多の郷」での昼食をはさみ、午後には会津大仏のある願成寺（一二二七年・隆寛により開基）、そして中善寺（開基僧は不明で一三一〇年に創設）の四ヶ所。

特に勝常寺は三十余体の仏像があり、中でも木造薬師如来坐像は一九九六年に国宝に指定され、その他9体も国の重要文化財の指定を受けているとのこと。

改めて、会津一千余年の歴史的・文化的価値の高さ、深さに圧倒された現地学習でした。



現地学習

専門二年 健康・福祉 小松 恒雄

9月6日、天気予報では雷を伴う激しい雨だったが、晴れ男・晴れ女が多かったせいかわれほどひどい雨に会わず会津の仏教文化に触れることができた。

まず弘安寺（中田観音）から始まり、法用寺、法幢寺、上宇内薬師堂、恵隆寺（立木観音）、心清水八幡神社に参拝し、それぞれ丁寧な説明を受けた。

ここでは中田観音についてお話ししましょう。皆様すでにご存じのとおり、この中田観音には野口英世博士の母シカが毎月訪れ、英世の立身出世と外国から早く帰ってくるように月参りを行っていたそうです。猪苗代から中田観音まで徒歩で通ったそう母親の大きな愛情に感銘を受けました。

また講師の大塚先生のウイットに富んだ雑学も披露していただき楽しい1日になりました。



学生活動経過報告

令和5年度学生会活動を振り返って

学生会会長 佐藤 重章



本年度は、コロナ禍以前と変わらずに多くの学園の行事と学生会の事業が粛々と開催され、継続できることへの感謝と同時に絆やコミュニケーションの大切さを新たに実感した年でもありました。

市民文化センターでの「入学式・始業式」が4年ぶりに行われたことは、普通であることの大切さを痛感しました。さらに「運動会」や「学園祭」での一致団結のすばらしさや、ステージ発表に至るまでの今までにない密なコミュニケーションでクラスの絆を深められた充足感は、携わった皆様の共有の財産となったことと思います。

同様に各実行委員会の活動も、例年通り計画立案からクラスへの働きかけ、関係先との交渉など多岐にわたるコミュニケーションを軸として、多くの方のご協力をいただきながら、推進・実行がなされてきました。

改めて、実行委員の皆様、事務局の皆様、またご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。

総務委員会報告

総務理事 渡邊 克行



総務委員会の主な活動は、学級内においては学級会議等での記録や委員長・副委員長の補佐、学生会全体では、理事会等での記録やマスコミ等への広報活動、そして福祉施設への募金活動や寄付品募集活動となっています。

11月の寄付品募集活動では、タオル・バスタオルを合計1,091枚、学生の皆さんからご寄付いただき、市内の児童福祉施設や老健施設に贈ることができました。また、募金活動では、歳末助け合い運動の一環として、これも学生の皆さんから合計190,254円を寄付いただき、市社会福祉協議会を通じて各福祉施設に贈ることができました。多くの施設から感謝され、お礼の手紙を受け取ったところです。

このように、今年度の総務委員会の活動が滞りなくスムーズに終わることができたのも、実行委員の方々のご協力、事務局の先生方や学生の皆様方の多大な協力のおかげと感謝申し上げます。

学生会会計の運用などについて

会計理事 栗山 昇



今年度はコロナも5月からは、2類から5類になり一部を除きやっと平常と同じように活動ができた年だったと思います。学生会会費も学生1,500円、研修1,000円とコロナ以前の会費の運営となり、またコロナが落ち着いた状況になった事で新入生も定員を超える応募者がありました。学生会活動の予算も通常通りになって良かったです。

実行委員会の活動もそれぞれ皆さん活発に活動されていました。各クラスの会計担当者の方や各班の会計の方は日々の会計業務の役割大変ありがとうございます。全体で集まる機会がないのでこの紙面をお借りして感謝の意をお伝えしたいと思います。

又、運動会や学園祭でのイベントでは各クラスの活動状況も大変活気があり、クラスの団結に貢献したのではないのでしょうか。今後は、人生100歳時代を見越して、個々人が楽しみクラスの結束を図りつつ、自分たちの年齢による経験値をもっと活用して地域社会に貢献できる、あさかの学園としてのパワーを発揮できるように皆で協力し、活動していければ最高ですね！

学生生活6年間で

18研修コース2年 小林 栄



あさかの学園に入学させていただき、6年が過ぎようとしている。振り返るとあっと言う間の時間の流れであった。

日々の学園生活では「拝聴」・「受容」・「共有」を自分の柱にして過ごしてきましたが、今となっては、楽しい思い出と自己反省点ばかり記憶に残っているところです。

6年間の学園生活では、多くの人との出会いがあったことに感謝をしています。私の世代は、1つの職業を一生懸命と言う傾向が強かったように思う。御多分に漏れることなく私もその一人である。そのような中での人との出会いは、その後の人生に多くの影響を及ぼすことに繋がっていると思う。

6年間の生活を今後になんかして、毎日を大切に過ごしていきたい。

最後に、あさかの学園の益々のご発展と学生会の皆さんのご活躍を心からお祈りします。

実行委員会活動経過報告

環境ボランティア実行委員会活動を終えて

5月の第1回実行委員会で令和5年度活動計画を審議し承認を得てスタートしました。

7月・第1回大安場史跡公園前川清掃活動、8月・うねめ踊り事後清掃活動、9月・第2回大安場史跡公園前川清掃活動、令和6年1月・環境セミナー開催（演題「健腸長寿と腸内フローラ」講師 郡山ヤクルト販売 山田大輔様）。

委員会も円滑に活動を行う為7回の会議を開きその都度活発な質疑応答を行いました。学生皆様のご協力により、多数の参加者で草刈りゴミ拾い清掃活動などを行い事故もなく無事終了できたことを感謝申し上げます。この活動を機会に環境整備への積極参加、家庭ごみの分別管理など一人でも多くの方がまずはできることから実施し美しく素晴らしいこの地球を次世代へ繋いでいきましょう。



環境ボランティア
実行委員長
教養2年 健康・福祉
五十嵐 和紀

間口の広さと奥行きを感じる

今年度の施設訪問実行委員は、5/13、6/17、6/24、7/24、8/19と継続協議、そして9/29協議決定しました。結果について、社会福祉法人などの4施設に訪問要請したのだが、どこも「固くご遠慮する」とのご返事を頂き、現在の社会環境から「止む無し、よって中止せざるを得ない」と決定いたしました。

来年度以降の方針については、歴史と伝統を重めることから、人様の健康と命を預かる専門家集団の施設側が応じる姿勢になったら、是非、訪問を再開することを次年度の実行委員会に申し送りする。その立案からから実行まで終始「慰問ではなく訪問、すなわち同じ目線に立つことを基本姿勢とする。」実務を経験した先輩の話を参考に。考察を混ぜ合わせた体験話はとても意義深い学習になる筈です。

間口の広さと奥行き、そして実務の難しさを感じるでしょう。



施設訪問
実行副委員長
教養1年 健康・福祉
久野 清

レクリエーション実行委員会活動を終えて

レクリエーション実行委員長になり思い付いたのは、今までは神社仏閣を巡るのが大半であったことから、今年は別の視点から考えようと思いました。

第1回目のレク委員会で目的地は、茨城県つくば市にある「国立研究開発法人宇宙航空開発機構筑波宇宙センター」を提案し、同意を得られ、以後8回もの委員会を開催し準備をして、当日を迎えることができました。宇宙センターは、HIIロケットが横たわっており、長さは50m。展示館の中は自由見学で、国際宇宙ステーションの日本実験棟「きぼう」、宇宙ステーションに物資の補給を担った「こうのとり」や多くの和名の衛星がたくさん展示されていました。また、日本のロケットの推移が展示されており、今の日本は大きな衛星を打ち上げる技術が確立している実感できたと思います。

最後になりますが、240余名もの学生諸君の参加を頂いたこと、御礼申し上げます。また、無事終了できたことは、各クラスの委員の皆様のご協力によるものと思っております。本当にありがとうございました。



レクリエーション
実行委員長
専門1年 郷土・生活
田辺 新太郎

講師退任のご挨拶（御礼と感謝）

長い間ありがとうございました

本年9月27日（水）、34年間に渉る講師の役割を終りました。初年度は平成2年（1990年）50歳でした。私にとって、当時の学生さんはお兄さんお姉さんでしたが、そのうち同年代で「お仲間」感覚となり、今年83歳、ここ数年は弟妹グループとを感じるようになりました。一学年150名を基準として計算しますと、24年間約5,000名の方と触れ合ったこととなります。自分の年齢と体力の流れ、平成から令和への時代の変遷、しみじみ34年の重さを感じます。レジュメは同じでしたが、時々テーマ、「特別養子」・「夫婦別姓」・「臓器移植・脳死判定」・「同姓婚」・「18歳選挙権と成年年齢」・「天皇制特例法」などを取り上げ話題として提供しました。学生さん達の反応は世相を反映して、随分と勉強になりました。一つの職を34年間続けたことは、私の人生で大きな財産です。

お世話頂きました数多くの事務局員の方々、そして講義を真剣に聞き、質疑応答で講義を盛り上げて下さった学生の皆さんに深甚なる敬意と感謝申し上げます。この大学がますます充実、発展することを祈念し期待いたします。



司法書士
満井 紀勝先生

クラス紹介

教養二年 健康・福祉

武田 美津子

私たち2Aは、運動会から「一味同心」をスローガンに掲げ、一致団結しています。特に、七月から練習を始めた学園祭の演目「河内おとこ節」は、盆踊りと違い舞踊に近い踊りでしたので、最初は覚えられないクラス全員不安だったと思います。十月にはいり、毎週パワーアップした練習動画を観るたびに、皆の自主練習の成果の賜物と感動しました。

本番の発表も、見事に決まり、更にお褒めの言葉も沢山いただきましたが、頑張ったかいがありました。

専門課程へ進級しても、挑戦を忘れずに「一味同心」で、学園生活を元気に楽しみ青い？春を満喫するであろう仲間達です。



教養二年 郷土・生活

太田 武美

私たち2Bはコロナ禍の中、期待と少しばかりの不安を胸に入學しました。当時は全員がマスクを着用しており、学級活動での自己紹介後も、顔と名前がなかなか一致しなかったものです。

昨年の運動会では、クラスで揃えたライトパープルのTシャツでの健闘もむなしく惨敗でした。今年の運動会では、クラス全員が昨年のリベンジを合言葉に、老体にむち打ちながら頑張った結果、見事に第二位にステップアップすることができました。また、今年はクラスのレクリエーションとしてグラウンド

ゴルフを実施し、クラス内の親睦を深め、先日の「学園祭」では、一糸乱れぬ息の合った「阿波踊り」を披露し、会場の皆さんから拍手喝采？をいただきました。



教養二年 芸術・文化

野口 和子

令和四年四月、男性十七名、女性三十五名、全五十三名、コロナ禍の中央公民館で新入生のみ入学式からのスタート。現在は三十九名。

一年の時は、名前と顔を覚えるのが一杯で話をするのもままならず……。

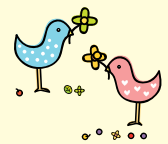
流石「芸・文クラス」音楽に秀でる人は多い。楽器を奏でる人、シャンソン等を歌う人。文章を書くのが得意な人、手芸、洋裁がプロ並みの人。郷土歴史芸能に詳しい人。専門的なレベルの高さは他に抜きんでている。

運動会では、練習もせずに5位と本番に強い！皆の協力と作戦、そして助け合いは凄かった！素敵なクラスです。年代は幅広いが互いに尊重し合い健康第一で学園生活を楽しみたいです。



日々の暮らしでの発見や感じていること

みんなの広場



七四歳で思うこと

教養一年 健康・福祉

岡部 百合子

この年齢になると何より健康が大
事だと思ふのです。まず食事、何を
食べるか、歩く事も含めて毎日の運
動、私は車を止めてから、どこへで
も速足で歩きます。規則正しい生活
を心がけ、小さな事でもいいので新
しい事を始めてみる事です。ピアノ
も七三歳から独学で弾き、季節の
花を描いたり まだ仕事もしてま
すし、あさかの学園で学べる事も大変
幸せだと思つています。もうではな
く、まだ七四歳なのです。



学園祭を終えて

教養一年 郷土・生活

江河 信一

7月から3か月間、毎週練習を重
ね本番を迎えた我がクラスの演目は
「ハンドベル」です。1音を3人一
組で担当、どの音を担当するかは抽
選で決め童謡など4曲の演奏。1曲
目は出番なし、2曲目、4曲目はそ
れなりの演奏ですが、3曲目唯一1
回のみ。このベル一振りを演奏に合
わせ、タイミング逃さず鳴らすこと
が如何に難しいことか。練習時は
中々合わずに顔を合わせて苦笑い。
さあ本番です。ここでは絶対に見
敗出来ない緊張の中「一球入魂」
の一振り。3人の息びつたしタイミ
ングもばっちり、にっこりで終了。
完璧でした。



「元気に通える楽しみ」

教養一年 芸術・文化

薄井 光代

今年の4月入学式に、突然別世界
があらわれなんと40数年ぶりに青春
まっただ中の学生になりました。毎
月とても快適なビッグアイで講義を
受けられることしあわせです。

10月には、こんなにすばらしい学
園祭とは知らず想像以上でした。1
C全体が一味となり燃えたこと大盛
況です。役員の皆様方毎回段取り
熱意あつく導いてくれました。鉄腕
アトム、AKBフォーチュンクッキ
ーのDVD作成していただき夏休み
に観て振りつけとリズムをおぼえや
つと踊れたこと感激です。

6月からは、すごい酷暑でしたが、
山のみじは真っ赤つか、一段と輝
いて燃えているようにみえます。仲
間の輪がとて広がりました。初夏
に作った楽京も今たべ頃になり、琴
を弾いてウェルビーイング！



「学園祭に参加して」

教養一年 健康・福祉

斎藤 さだ子

「一味同心」をスローガンに参加
した学園祭。踊り初挑戦で、振りを
覚えるのも大変でした。踊っている
時は覚えたつもりでも、時間が経つ
と手と足がうまく動かず、班長さん
からの動画配信で、自宅でも練習を
重ねました。班長さん本当に感謝で
す。皆さんに迷惑はかけられないと、
プレッシャーはかかるし、70才を過
ぎた私には、大変な苦勞でした。

7月からの練習で無事学園祭は終
りホッと一息です。この経験は私の
思い出のワンシーンとして、ずっと
心に残る事でしょう。クラスの皆様、
本当に有難うございました。



『家族旅行』

教養二年 郷土・生活

小針 恵美子

5月、長女の結婚式でのこと。弟が大きな声で笑う。新婚旅行に親がついて行くんだって、アハハハ。違うから、私達の結婚30年で、次女と3人で旅行に行く予定だったのに、長女夫婦が私達も行きたいと言ってきた。えっ、と思ったけど、5人で行ったほうが楽しいかも、この後、皆で行ける時があるだろうか、最後までと一緒に行く事になる。

コロナも落ちつき、一気に旅行ブーム、皆で行けて、とっても楽しかった。

一緒に行ってくれた、娘婿に感謝！一生の思い出となった。



50年目のクラス会

教養二年 芸術・文化

小池 重明

私が東京都立小石川高校の門をくぐったのは大阪万博が始まって間もない70年4月のことでした。それから3年間の高校生活は本当に何もかもが楽しく、充実した日々だったことを思い出します。尊敬できる先生方も何と多かったか（幸せだったなあ）。

さて、先日の50年目のクラス会は29名が出席。クラスは45名（女15・男30）でしたから素晴らしい出席率かと。美脚ミニスカだった彼女も（世はミニスカ全盛、制服は既に自由化されておりました）、長髪ジーパン姿だった彼も、それぞれにふくよか白髪または薄く、ああ……50年が経ったんだなあ。

あさかの大学2Cも5年後のクラス会で破顔一笑（流石に50年は）……。



『利他の器』

専門一年 健康・福祉

鈴木 正寿

私は文字が読めない程度のロービジョンで、四年前から白杖を使っている。日ごろ困ることの一つが、相手の顔が見えないことである。外出時「お困りですか？」と声をかけてもらい助けて頂くが、目を合わせてお礼する事ができず申し訳ない。

白杖訓練の時、盲導大歩行体験をした。危険を避け自在に導いてくれる。階段もスムーズで怖くなかった。歩行介助のスペシャリストである。「なぜ他人のために尽くせるのか」「アナタはなぜ優しく声掛けができるの」。

それがうれしく、あたたかい皆さんに感謝します。



ゴリラもスマホ依存症？

専門一年 郷土・生活

内藤 君江

スマホの進化と共に私達の生活が便利になり多くの人がスマホを手放せなくなりつつあります。しかしスマホ依存症になるのは人間だけではないようです。カナダの動物園のゴリラが来園者のスマホの動画に異常な興味を示し仲間との交流ができなくなったという報道がありました。

AIの時代になり私自身も仕事や趣味にスマホは必需品になっていきますが、思考力が低下するのではと思う時があります。カナダの動物園のゴリラさんの様にならないように文明の利器を上手に利用したいと思います。



シャンソンを始めて五年

専門一年 芸術・生活
鈴木 美子

私は、昔から音楽を聴くのが趣味であり、特にシャンソンでは、越路吹雪さんの歌が大好きです。

5年前にシャンソンを習う事となり、現在に至っています。シャンソンは、フランス語であり、日本で言う流行歌みたいなものですが、歌詞が物語性を持っているものが多く、語りの要素もあり、一編の短いドラマです。語りはとても難しく大変ですが、私にとって好きな歌に集中している時が一番楽しく、無我夢中になり努力することをおしみません。最近ではビビットコーラスに入会し、発声練習をしながら皆におおられながらついていっています。



孫の成長

専門二年 健康・福祉
坂本 カツ子

4月1日、コロナで会えずに成長が思い浮かばなかった中三の孫が、駅のホテルまで迎えに。ビックリして誰ですか？と言ってしまったが孫は笑っていました。

娘夫婦に孫2人の5人でデイズニールランドへ行きました。コロナで人数制限はあったものの、数多くの人達の中マスクをしてジェットコースターに。若い人達の多い年齢制限はないのかなあと言いながらも乗って遊んできました。

夕方には東京駅まで足を運び、昔いつ来たかとは思いますが天井のステンドグラスやシャンデリアなど、上を見上げ動かずに見とれていました。

2日目は浅草などに。今度孫に会う時の成長が楽しみです。



入って良かった 「あさかの学園大学」

専門二年 健康・福祉
安齋 佳世

コロナに負けずどうにか4年間の学生生活を終えようとしています。教養を身に付ける2年間、専門課程の2年間はとも実りのある体験や授業を受けさせていただき、先生方には大変感謝申し上げます。

また、私にとっては縦横のつながりに大変素晴らしい人たちとの巡り合いと、豊かな時間を過ごさせていただけただけなのに有難うございますとお礼申し上げます。それもあさかの学園のおかげで、底力が凄く素晴らしいものと感じます。うねめ踊りも体験し、学園祭はどうなるのか心配でしたが、4Aは少人数でも皆さん自信を持って舞台にたちましたよね。隣で踊っていた委員長、後ほどビデオを見てサンバの踊りも上手になりました。

次は、息子がいるうちにアメリカに行きたいと考えます。今の体調をキープしつつ、世界平和を願って日々の生活を大切に生きたいと思えます。



「あさかの学園 四年間の思い出」

専門二年 郷土・生活
長谷川 昭栄

書いている今は十一月の半ばで、「もうすぐ卒業式だわ」と思うこの頃です。

一、二年生の時はコロナ禍の真っ只中。同じ班の人の顔がやっと分かる程度で、先輩たちが「すごく楽しいよ」と言っていたのに「それはどこですか」と思っていました。三年生になり班編成も新たに、学園の各種イベントや現地学習などでクラスの人達の名前と顔が一致し、3Bの明るさと団結力が本領発揮されてきたのでした。四年生の今、4Bで良かった。楽しいと思っています。学園祭のフラダンスとサンバの練習は七月から本格的になり、「暑い暑い」と言いながら目標に向かって一丸となる姿はふたたびの青春そのものです。

一瞬の無重力状態の本番。幕が降り、静寂の中、煌めく感動を一緒に体験できたのは貴重な宝物です。



「マシユマロの」

専門二年 郷土・生活

矢口 哲夫

二年前に初めての孫を得ました。しかし浦和に住んでいる為、コロナ禍の影響もあり、年に数回それも数時間の滞在なので孫も近寄ってくれず寂しい思いをしていました。それでも「みてね」アプリで送られて来る動画でその成長振りを観て一喜一憂しておりました。

九月に娘夫婦の招きにより品川水族館に行った折り、孫娘と大水槽で泳ぐ鮫やイルカショー等を見てまわりました。翌日のホテルの廊下で初めて繋いだ手はマシユマロの様に柔らかく。

更に十月の末に娘が二子を出産しお七夜の祝いに訪れた処、孫娘の開口一番は「サメ見たね」でした。やっとおじいちゃんの第一歩を踏み出せた様です。



「真夜中のなんくるタイム」

専門二年 芸術・文化

服部 庄一

10月20日授業後、ラジオ福島・嘉数（かかず）夕稀子アナが来園し、学園生活について学生会長とクラスメイトとのインタビュを収録し、その日の午後10時20分から「真夜中のなんくるタイム」という番組で放送された。

私達が入学した4年前コロナ禍で授業も半年遅れで始まり学生活動も自粛の状態でした。2年前からクラブ活動、運動会など行われ今年学園祭が4年ぶりに行われた。インタビューの中で、学園に来てのお喋り、人との出会いが楽しいなど、みんなの本音が聞けたような気がした。

これからもクラス仲間を大切にしておいて学園生活を通じて行ってみたいと思います。



円谷選手と箱根駅伝

専門二年 芸術・文化

金子 かつ子

初めての学園祭が感動の中終了し、その後出席した飲み会は時間も忘れ大いに食べ、大きな声で笑い、とても賑やかでした。円谷幸吉選手の話も出ました。小5の東京オリンピック。隣家の白黒TVに映る、真つすぐ前を向き必死に走るゴール前の円谷選手は立派でした。

現在、私のお正月は箱根駅伝、郷土出身選手を応援すること。毎年いろんなドラマがある。活躍を期待されながら結果が出ない人も次年にリベンジしたくも卒業。一期一会の走りなのである。人の人生に似ている。仲間の運んだ襷に力を貰い次の走者に渡す為に必死に走る姿は60年前の円谷選手の姿と重なる。恙無く走り切れるように、襷の重さに押し潰されないようにと、応援しながら見守っている。

二千X年の詩^{うた}

研修一年 阿部 政廣

思い出に花を添えて
何時も流れていた
あの時を聞きながら
元氣にと踊る 自分にさようなら
思い出と共に消える
一人歩いてきた
過ぎた道置いて行く
誰かと語る 自分にさようなら
二千X年に百の歳を迎えて
自然の力に寄り添い
星や光に惑わされて
いるかもしれない
二千X年に百の歳を越えてく
思いの心が負けずに
山や風と泣いて生きて
いるかも知れない
老いて知りたい 真実の未知を
遠い夢でも 旅に立つ前に
追い求めて 一滴の涙
流してみたい



最後の学園祭

研修二年 鎌田 陽子

四年ぶり二度目の合唱でピアノ伴奏を担当しました。練習の雰囲気は前回よりもゆとりがあり、本番の演奏も、声量は少し落ちましたが、歌唱のレベルは上がりました。これぞ二年生と六年生の差です。肉体は老化が進んでも、精神的には成長することができるといって嬉しい気持ちでした。

初めて経験した合唱がとても楽しくて、歌を歌うことが好きになったという人がいました。これは勿論、偏に小林委員長のご指導の賜物なのですが、サポート役の私も、自分には難しすぎる曲を必死で練習した苦労がこれで報われたと思います。



環境セミナー

令和6年1月13日（土）、ビッグアイ大会議室で環境ボランティア委員会主催による講演会が下記テーマで開催されました。



講演

郡山ヤクルト(株)
広報室 山田大輔氏

- 1 消化器官について
- 2 免疫ってなに？
- 3 おなかには菌が住んでいる
- 4 うんちから学ぶ生活リズム

いきいきふれあいの集いに参加して

90分近くの時間、マイク1本で聴衆をひきつける、ヨネスケ氏の魅力を3点挙げたい。
①郡山の話題で、「つかみ」をとったこと。
②自分のかつての持ち番組のエピソードを語り、新たな知見を加えたこと。
③落語家・断家として、話のテンポが耳に心地よいこと。
さすが、プロであった。
(2B 平田 幸一)

◆記念講演

【演題】 元氣と笑いがある人生
【講師】 落語家・タレント ヨネスケ 様

*活動事例発表

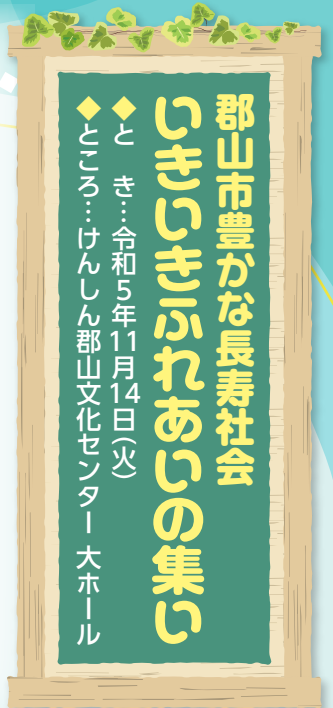
「サードプレイスとしての
シニア世代の交流の場づくり」
ハーベストカフェ代表 満井みさ子 様
「緑のかかわり方」
公益社団法人郡山青年会議所副理事長 佐久間悠治 様

◆提言・活動事例発表

* 提言
「祖母から学んだこと」
郡山市立熱海中学校 3年 冨塚 希和 様

◆開催の目的

* 高齢者が健康で生きがいをもち、充実した生活が出来るよう自己啓発し、社会参加の契機とする。
* 郡山市の「豊かな長寿社会」を進めるための具体的な内容について、各世代、各年代より提言や活動事例発表並びに記念講演をいただき、全市民で考えていく契機とする。





筑波宇宙センター



益子焼窯元共販センター

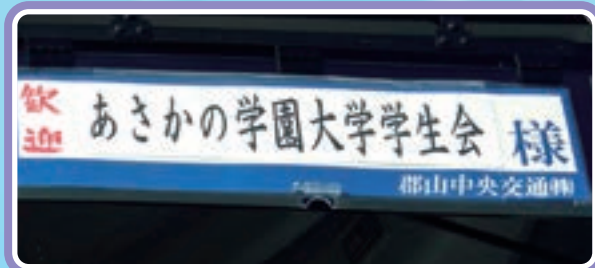
素敵な出会い、素晴らしい体験、 心地よい疲れと充実感

2023
レク活動





昼食 ホテルグランド東雲



清掃ボランティアに参加

◆7/8(土)51名
◆9/26(火)61名

学生会環境ボランティア実行委員会が募集し、今年度も大安場史跡公園でご参加いただきました。

参加された学生の皆さん
ありがとうございました



7/8
(土)



9/26
(火)



みんなの 文芸

短歌

すすき持つ下校の子らははじやれあいて
家並みはずれの道を賑わす

(1B) 宗像 道子

万葉の歌に惹かれてほととぎす

秋のひととき咲くほととぎす

(2B) 柳田美恵子

人生の終盤迎え思うこと

希望忘れず感謝感謝かな

(3B) 田川のり子

あさかのの友の笑顔に涙して

何を想うか祭典終えて

(4B) 山口さた子

カラオケで歌う友達曲目に

人それぞれの想いが見える

(研1) 熊田 善三

仰ぎ見る思いで多しビッグアイ

六年間の感謝いっぱい

(研2) 森田ひとみ

俳句

名月にだんご供へし義母の影

(1C) 角田 千恵

芭蕉路を友と辿りていろ紅葉

(2C) 古川 陽子

磐梯の田に群れてみし小白鳥

(3C) 藤田 尚子

孫の絵におちよこ傾け星月夜

(4C) 大川原弘輔

朝涼に古墳を清め想いはせ

(研1) 菅家 那弘

古希過ぎて学園通い再朱夏

(研2) 日下美代子

川柳

秋の夜ひとり静かに本を読む

(1A) 宝柳 洋

岸田丸迷走続け港なし

(1A) 神山 啓子

マスク取るクラスメイトにあなた誰

(2A) 相澤 栄子

世もすえと嘆く我が身は世のはてと

(3A) 佐々木勝夫

初舞台みんなまで踊る学園祭

(4A) 阿部三千子

『サザエさん』声優だけが歳を取り

(研1) 大塚 友子

雨やみて光る草木冬わらび

(研2) 伊部三千子

編集後記

会報編集委員会
総務 橋本 秀雄

何と、11月になって夏日を記録するとは!! 専門2年になって初めて、手探りの学園祭。何すればいいんだろう?担当の人たちも大変だろうな...と出し物決定!当然全クラス、先生方も準備に苦勞された事と思います。蓋を開けてみれば大成功に終わる事が出来ました。

「あさかの学園大学」の学生たちはいざとなったら、今までの経験を十二分に発揮して何事にも立ち向かえるんじゃないだろうかと思える程、力強く頼りになる人たちの集まりなんだなあと、改めて思い知らされました。これから入学される方々も同じだと思いますので、学園魂を引き継いでいきましょうね。

寄付と募金

タオル寄付 1,091枚

◆郡山市社会福祉事業団へ11月30日(木)に訪問し、タオル、バスタオルをお渡ししました。



歳末助け合い募金

¥190,254

◆郡山市社会福祉協議会へ12月25日(月)に訪問し、寄付金をお渡ししました。



月会報「あさかの」が郡山市HPに掲載されることになりました。

掲載場所

郡山市トップページ>ココカラこおりやま!>健康メニュー>生きがいづくり(趣味・社会参加)>あさかの学園の概要>学生会に関する資料等

あさかの学園の概要ページ



会報58号「あさかの」



スマホの練習にご活用ください!